

平成29年度包括外部監査結果に対する対応状況・方針等

監査テーマ:試験研究機関に係る財務に関する事務の執行及び事業の管理について

番号	監査年度	頁	区分	項目	担当部署	担当課・室	監査結果	対応状況・方針等			
								平成30年度報告内容	令和元年度報告内容	令和2年度報告内容	令和3年度状況
1	29	9	意見	試験研究機関の状況	各研究施設の耐震状況	産業創出課・農産園芸課・畜産課・水産課 経済労働部・農林水産部	<p>産業創出課(産業技術研究所・食品産業技術センター) 「県有財産管理の基本方針」に基づき、保全施設等対象施設として安全性確保のため、耐震診断を実施し、必要な改修等検討していきたい。</p> <p>農産園芸課(果樹研究センター) 「県有財産管理の基本方針」に基づき、保全措置等対象施設として総務管理課へ報告しており、築年数や老朽化の状況に応じて、建替えや耐震対策について検討している。</p> <p>畜産課(畜産研究センター、養鶏研究所) 築50年を超える本庁舎のほか、古い畜舎等を現在も活用している状況もあり、県有施設全体の優先順位などを勘案しながら施設整備の検討を進めている。</p> <p>水産課(水産研究センター) 耐震診断の対象となる本館については、所管する総務管理課に依頼済み。耐震診断の対象外となる施設については、老朽化が進行していることから、改修・再整備について内部で検討している。</p>	<p>産業創出課(産業技術研究所・食品産業技術センター) 「県有財産管理の基本方針」に基づき、保全措置等対象施設として安全性確保のため、優先順位などを勘案しながら耐震診断や必要な改修等検討していきたい。</p> <p>農産園芸課(果樹研究センター) 「県有財産管理の基本方針」に基づき、保全措置等対象施設として総務管理課へ報告しており、築年数や老朽化の状況に応じて、建替えや耐震対策について検討している。</p> <p>畜産課(畜産研究センター、養鶏研究所) 築50年を超える施設であることから、保全措置等対象施設として県有施設全体の優先順位を勘案しながら建替の方向で検討を進める旨、総務管理課へ報告している。</p> <p>水産課(水産研究センター) 水産研究センターでは、再編方針に基づき、令和2年度より、業務を継続しつつ老朽化が著しい緊急且つ必要性の高い施設の整備を開始し、本館を含むその他施設については、県有財産保全対象施設として、順次整備する方向で検討している。</p>	<p>産業創出課(産業技術研究所・食品産業技術センター) 「県有財産管理の基本方針」に基づき、保全措置等対象施設として総務管理課へ報告しており、安全性確保のため、優先順位等を勘案しながら耐震診断や必要な改修等検討していきたい。</p> <p>農産園芸課(果樹研究センター) 「県有財産管理の基本方針」に基づき、保全措置等対象施設として総務管理課へ報告しており、築年数や老朽化の状況に応じて、建替えや耐震対策について検討している。</p> <p>畜産課(畜産研究センター、養鶏研究所) 「県有財産管理の基本方針」に基づき、保全措置等対象施設として総務管理課へ報告しているが、築50年を超える施設であることから、県有施設全体の優先順位を勘案しながら、建替の方向で検討を進めているところ。</p> <p>水産課(水産研究センター) 水産研究センターでは、再編方針に基づき、令和2年度より、業務を継続しつつ老朽化が著しい緊急且つ必要性の高い施設の整備を開始し、本館を含むその他施設については、県有財産保全対象施設として、順次整備する方向で検討している。</p>	<p>産業創出課(産業技術研究所・食品産業技術センター) 令和4年度に耐震診断を実施予定。</p> <p>農産園芸課(果樹研究センター) 「県有財産管理の基本方針」に基づき、保全措置等対象施設として総務管理課へ報告しており、築年数や老朽化の状況に応じて、建替えや耐震対策について検討している。</p> <p>畜産課(畜産研究センター、養鶏研究所) 「県有財産管理の基本方針」に基づき、保全措置等対象施設として総務管理課へ報告しているが、築50年を超える施設であることから、県有施設全体の優先順位を勘案しながら、建替の方向で検討を進めているところ。</p> <p>水産課(水産研究センター) 第一期のうち、種苗生産棟の整備が令和3年度に完了予定、稚魚飼育棟を令和4年度から整備予定。 その他の施設について、引き続き建替え整備について検討している。</p>	